

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	2271 ゆめが丘芝生広場改修工事	会計		
基本 施策	34 だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款		
		項		
		目		
行革大綱の重点事項番号		細々目		
担当部課	コード	450800	担当者 氏名	福谷日出夫
	名称	スポーツ振興課		連絡先

**事務事業の概要 (Plan)**

<b>【全体事業計画】</b>	
対象(誰を、何を)	施設を利用する市民 ※対象件数
成果(どうする)	芝生の養生期間を設定しなくてよくなり、利用率があがる。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 23 年度 関連事業
終了年度	平成 23 年度
事業概要	ゆめが丘芝生広場を人工芝に改修

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市ゆめが丘6丁目6番地
2 建設面積	8970㎡
3 規模・構造	ロングパイル人工芝舗装
4 総事業費	109,835 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	指定管理
2 配置(予定)人員	2 人
3 年間運営費(見込)	6,000 千円
4 年間収入(見込)	1,500 千円
5 市内の類似施設	人工芝施設なし

**【検証指標】**

活動指標	指標名	単位	現状値				目標値			
			H21	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24
	整備進捗率	%	-	-	100	-				

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	現状値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
	利用率	利用率による評価	%	47	50	0	60
	利用者数	利用者数による評価		14,317	15,000	0	17,000

**【投入コスト】**

投入コスト	H22 所要額	H23 所要額	H24 所要額	H25 所要額
直接事業費計(A)		109,835		
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	0	109,835	0	0
事業投入人件費(B)	1人	0.5人	3,600人	0人
フルコスト(A)+(B)		0	113,435	0

**【事務事業企画の背景、状況変化見直し、市民意見等】**  
 この事務事業を新たに企画した背景は何か？  
 伊賀市体育協会、伊賀市スポーツ少年団、伊賀市サッカー協会及び伊賀市グラウンド・ゴルフ協会からの10、333名の署名を添えた要望書の提出があった。  
 この事務事業を取り巻く状況(対象や根拠法令等)は、今後どのように変化していくか？(見直し)  
 この施設の敷地については、教育施設の用途施設があるため調整が必要。  
 この事務事業に対して関係者からどのような意見や要望が寄せられているか？  
 早期の整備を希望している。  
 本事務事業は、どのような状態になれば完了とみなす(休止・廃止となる)か？また、その目安はおおよそ何年後か？  
 整備進捗率100%で完了。23年度完了

**【事前評価】** 該当項目に○をつけてください。

法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		【特記事項】
個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○	
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		現在年間の自然芝管理費は、500万円で、人工芝にすることによって500万円の減額となる。
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業		
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。		【根拠】
基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		【根拠】
社会経済情勢・市民ニーズなどから、緊急性は高い。	○	【直ちに着手・実施しなければならない(先延ばしできない)理由】 伊賀市体育協会、伊賀市スポーツ少年団、伊賀市サッカー協会及び伊賀市グラウンド・ゴルフ協会から、強い要望があるため。
事務事業の対象・成果の設定は妥当である。		【根拠】
事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。		【具体的内容】
受益と負担の公平性が考慮されている。	○	【根拠】 人工芝に伴い、施設使用料の改定を考えている。
本事務事業と類似の目的・手段をもつ事業がある。		【事業名称 今後どのように連携して成果向上を図るか】
本事務事業の企画に際して、代替案を検討した。		【比較検討結果】
本事務事業の実施にあたって、廃止又は統合する事業がある。	○	【事業名及び削減される一般財源額】 指定管理委託料の一部(ゆめが丘多目的広場芝生管理費)年500万円
コストに見合った効果が見込める。	○	【根拠】 自然芝の養生期間が不要となり利用率が上昇する。
将来的に民間等への移管が可能である。		【いつごろ】

担当課長氏名	事業実施に対する担当課長の意見
松本和久	多くの市民からの要望であり、整備することにより市民満足度が向上する。ただし、夜間等の利用率の向上による周辺住民への配慮が必要となる。また、夜間使用のための照明車両は老朽化が進んでおり、検討が必要となっている。